

The Accenture logo, featuring the word "accenture" in a white, lowercase, sans-serif font with a small chevron symbol above the letter 'u'.

accenture

# Work at the heart of change

A person in a blue shirt and jeans is walking away from the camera down a long, brightly lit tunnel with corrugated metal walls. The person is holding a light that illuminates the path ahead. The tunnel's perspective creates a strong sense of depth and direction.

採用案内

# アクセントゥアはテクノロジーの力を 活用して未来を実現する 総合コンサルティング企業です。

ビジネスの急激なデジタル化、グローバル化が進む今、世界中の大手企業や公的機関をお客様とし、世界最大級の組織力を生かしたサービスを提供しています。従来とは異なる発想で新しい価値を創出すること、つまりイノベーションで世界の人々の仕事と生活をより良くすべく、さまざまな背景、強み、考え方を持つ多様な専門家がチームを組み、先端テクノロジーを活かして、お客様の変革を支援します。アクセントゥアには、社会に大きなインパクトを及ぼすダイナミックな活躍の場と世界水準のキャリア構築のチャンスがあります。

Welcome to  
Accenture  
Innovation Hub Tokyo

Digital is a  
Game-changer  
Tech Lab  
Accenture Open Innovation Network  
Security, Privacy & Compliance

AI



# 目次

2	.....数字で見るアクセントのスケール	11	.....女性の活躍を支援する充実した制度
3	.....アクセントの仕事(概要)	12	.....コーポレート・シチズンシップ 社会貢献活動
4	.....組織体制	13	.....アクセントの環境への取り組み
5	.....働く環境	14	.....採用メッセージ
6	.....キャリアパス	15	.....求める人材像
7	.....キャリアズ・マーケットプレイス	16-17	.....採用カテゴリ・採用プロセス
8-9	.....人材開発・トレーニング制度	18-19	.....オープンな企業文化
10	.....インクルージョン&ダイバーシティ	20-25	.....主な国内事業拠点



# 数字で見る アクセンチュアの スケール

巨大な人材ネットワークが  
築き上げた社会とお客様の信頼



その他の受賞実績 >

## 巨大なグローバル企業

アクセンチュアジャパンの従業員数

約**18,000**人

(2021年12月現在)



グローバルグループ全体の従業員数

約**699,000**人

(2022年3月現在)

世界のビジネス拠点数

**50**カ国  
**200**都市以上



## 売上は堅調に成長中

約**5兆5,550億**円\*1US\$=110円で換算

**505**億USドル

2021年会計年度：グローバルグループ全体売上高

アクセンチュアジャパンは8年連続2ケタ成長

## 優良なお客様企業の ビジネスパートナーとして

世界のトップ企業100社\*のうち91社がアクセンチュアのお客様です。つまり、誰もが知っている企業や組織の支援に関わっています。

\*米「フォーチュン」誌発表

**89**社  
私たちのお客様



お客様のビジネスパートナーとして長期的な成果創出、そして次の課題解決へと歩みを進めていくことが私たちの誇りです

**98**社  
**10年以上の**  
継続取引



## 創業

グローバル

**1953**年

日本(事務所開設)

日本に根付いて

**1962**年 **60**年

# アクセンチュアの仕事(概要)

## 各領域のエキスパートが社内で協働し、圧倒的なスピードで統合的な成果を創出

アクセンチュアが圧倒的なスピードで戦略立案から実行、運用、さらに改善プラン立案から実行、成果創出まで実現できるのは社内にすべての機能が内包されているからに他なりません

<b>戦略 コンサルタント</b>	<b>配属</b> ビジネス コンサルティング本部	<b>専門分野</b> 全社成長戦略、グローバル戦略、 デジタル戦略など	<b>セキュリティ コンサルタント</b>	<b>配属</b> テクノロジー コンサルティング本部	<b>専門分野</b> ・セキュリティ戦略・リスク管理 ・サイバーディフェンス
<b>マネジメント コンサルタント</b>	<b>配属</b> ビジネス コンサルティング本部	<b>専門分野</b> ・業界別経営戦略・業務コンサルティ ング ・ファンクションコンサルティング (人材・組織、財務・経営管理、サプライチ ー、営業・マーケティング、M&A)	<b>デジタル コンサルタント</b>	<b>配属</b> ・テクノロジー コンサルティング本部 ・インタラクティブ本部	<b>専門分野</b> ・技術基盤アーキテクト ・技術基盤エンジニア ・Web開発エンジニア
<b>データ サイエンティスト AIアーキテクト データドリブン コンサルタント</b>	<b>配属</b> ビジネス コンサルティング本部	<b>専門分野</b> ・データサイエンス、人工知能 ・高度分析 / モデリング ・データ主導コンサルティング	<b>ソリューション・ エンジニア アウトソーシング コンサルタント</b>	<b>配属</b> ・テクノロジー コンサルティング本部 ・インタラクティブ本部	<b>専門分野</b> ・アプリケーション設計・開発 ・ソリューション活用 / 導入 ・モダナイゼーション ・インテリジェント・オートメーション ・インフラ設計・構築
<b>オペレーション トランスフォー メーション コンサルタント</b>	<b>配属</b> オペレーションズ コンサルティング本部	<b>専門分野</b> ・ソリューション設計 ・ビジネストランスフォーメーション ・アカウントマネジメント ・サービスイノベーション	<b>テクノロジー コンサルタント システム コンサルタント</b>	<b>配属</b> ・テクノロジー コンサルティング本部 ・ビジネス コンサルティング本部	<b>専門分野</b> ・IT戦略 / システム最適化 ・ソリューション別コンサルティング ・業界特化型コンサルティング ・New IT活用
<b>マーケティング</b>	<b>配属</b> インタラクティブ本部	<b>専門分野</b> ・デジタルマーケティング戦略 / 実行 ・コミュニケーション設計 ・ECコンサルティング	<b>インダストリーX コンサルタント・ エンジニア</b>	<b>配属</b> インダストリーX本部	<b>専門分野</b> ・ものづくりのデジタル変革 ・IoT新製品、サービスの開発 ・生産現場のデジタル化 ・アーキテクトチャ設計
<b>クリエイティブ デザイン コンテンツデザイン</b>	<b>配属</b> ・インタラクティブ本部 ・オペレーションズ コンサルティング本部	<b>専門分野</b> ・クリエイティブ戦略立案 / 開発 ・ブランド戦略立案 ・エクスペリエンス・サービスデザイン ・ビジュアルデザイン / 3DCG			

## 組織体制

世界共通の体制で、事例・ナレッジを最大限に活用できるのが強み

クライアント・グループ

ビジネス  
コンサルティング本部

テクノロジー  
コンサルティング本部

インタラクティブ本部

オペレーションズ  
コンサルティング本部

インダストリーX本部

管理部門

各産業のエキスパート・専門知識が結集



通信・メディア・ハイテク

通信  
エレクトロニクス・ハイテク  
メディア・エンターテインメント  
インターネット&ソフトウェア



金融サービス

バンキング  
キャピタル・マーケット  
保険



公共サービス・  
医療健康

公共サービス  
医療健康



製造・流通

自動車・産業機械・建設・不動産  
運輸・貨物  
航空・旅行  
消費財・サービス  
ライフサイエンス  
流通・小売り



素材・エネルギー

化学  
素材  
石油・天然ガス・石炭  
電力・ガス・水道

## 働く環境

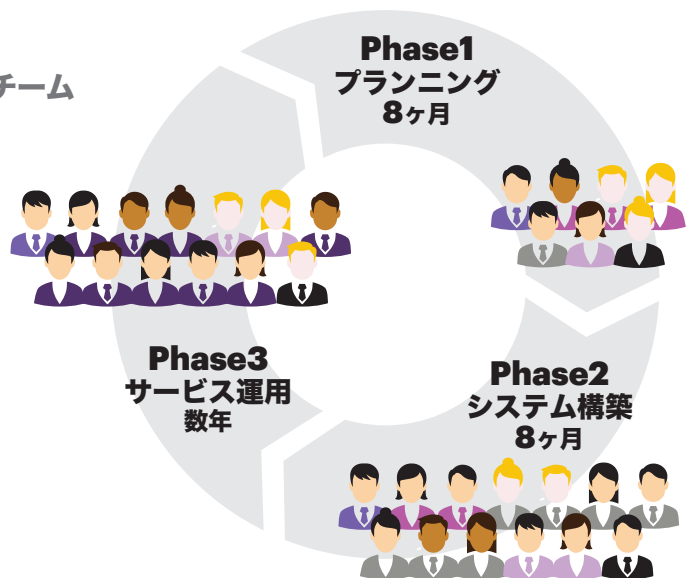
### プロジェクト毎に編成される、時には国境をも超える最強チーム

プロジェクトチームの一員として、お客様の職場で勤務するのが主なワークスタイルです。さまざまな専門性を持つ、異なる部署やグローバルのメンバーとコラボレーションし、お客様により大きな価値を提供します。

### プロジェクト例

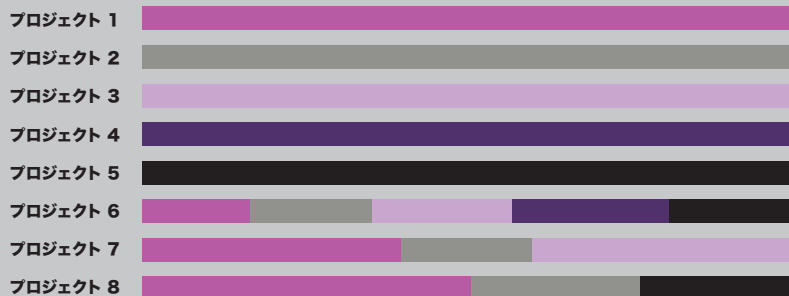
事業会社と金融機関が協力して立ち上げた電子マネーサービスの提供を支援

- クライアント・グループ
- ビジネス コンサルティング本部
- テクノロジー コンサルティング本部
- インタラクティブ本部
- オペレーションズ コンサルティング本部
- インダストリーX本部



勤務地を問わずリアルタイムにコミュニケーションできるツールが整備されています。

部門間のコラボレーション - 色々なタイプのプロジェクトがあります



クライアント・グループはすべての道のりを並走

# キャリアパス

グローバル水準のキャリア構築支援制度が充実しています

## キャリアカウンセリング制度で 社員1人1人のキャリアを個別にカスタマイズ

アクセンチュアでは、社員1人1人にピープルリード（旧称・キャリアカウンセラー）がついてキャリア構築をサポートするという、他社ではあまり例のない制度を設けています。また、社員は自分でピープルリードを選ぶことも可能です。アクセンチュア社内には非常に幅広い仕事とキャリアチャンスがあり、各社員が独自のキャリアをカスタマイズして構築していくため、このような制度が非常に有効なのです。



## ピープルリード（旧称・キャリアカウンセラー）の声

多くのカウンセラー（カウンセリング対象の社員）から“自分が成長できているのか”という相談を受けます。そんな方には幅広くアンテナを立てて、あらためて自分の得意分野を見極めるようアドバイスしています。例えば、今までとは違うタイプのプロジェクトに志願してみたり、過去と一緒に働いたことのない上司のもとで働いてみたり、といったちょっとした環境の変化で新たなキャリア展望が開けることがあります。そういった積極的なアクションを後押しする制度やカルチャーがアクセンチュアにはありますので、最大限に活用し、思い描くキャリアを構築していただきたいと思います。

## 世界共通のマネジメントレベルで 成長・昇格していきます



\* 役職呼称は所属組織、役割によって異なります

## キャリアズ・マーケットプレイス

世界の募集中ポジションに応募できる、  
さながら社内の転職サイト

### キャリアズ・マーケットプレイス とは？

国内外のアクセンチュアの募集中ポジションを自由に検索し、応募できる社内ツールです。

興味のある部門の社員にコンタクトしたり、自分の経験やスキルが希望するポジションにマッチするかなど簡単に確認が可能です。

コンサルティング業界全般に言えることですが、成長意欲の高い方が多く、入社後4～5年で新しい挑戦を求めて転職あるいは独立しやすい傾向があります。そこで、社員がキャリアチェンジを志すときに社内で希望する仕事に応募できるよう、この社内ツールが開発されました。

日本では2021年度で、約740名の社員が利用し、希望の仕事・ポジションに就いています。自分のキャリアは自分で構築できる時代に。多様性と主体性を大切に考えるアクセンチュアは、今後も様々な形でそれぞれの社員の個性や価値観を活かせる環境づくりに取り組んでいきます。

2021年度  
キャリアズ・マーケット  
プレイスを利用して異動した人数

約**740**名



### Akiko I.さんの場合

入社時 ソリューション・エンジニア ➡ 異動後 テクノロジーコンサルタント

#### Q 異動の動機は？

2017年に新卒でソリューション・エンジニアとして入社しました。入社後、半導体メーカーと損保会社のプロジェクトに参画し、「SIの全体を俯瞰したい」と上司に希望を伝えたところ、エンジニア入社ながらマネジメント支援の役割を任せられることになりました。その中で、「自分はお客様への提案や企画をプロジェクトに落とし込む業務の方が向いている」と感じ、将来自分が働く姿として、よりマッチしているのはテクノロジーコンサルタントという仕事だと思い、応募を決めました。

#### Q 異動後はどうですか？

現在はテクノロジーコンサルタントとして、金融業界のお客様を支援しています。コンサルタントになってからも、エンジニア時代のスキルが役立っていると感じますね。自分がこうありたいと思うキャリアの歩み方をサポートしてくれる制度だと思います。

# 人材開発・トレーニング制度

莫大なリソースを投入し、次世代をリードする人材を育成しています

## 成長スピードを最大化する仕組み

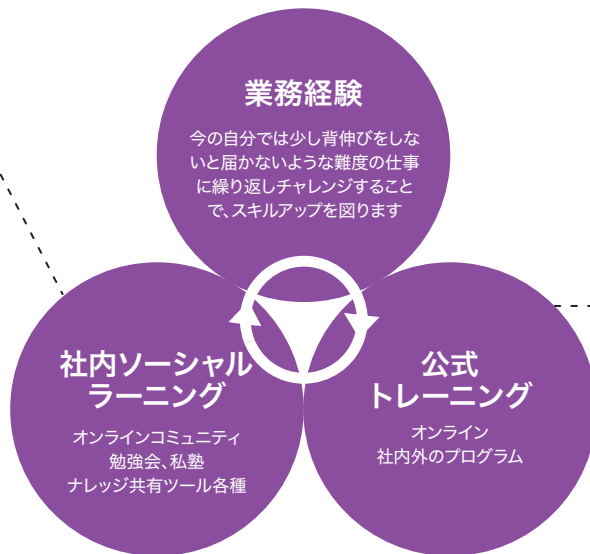
公式、非公式の勉強会も多数  
ナレッジを共有し合い、後続を育てる  
カルチャーが根付いています



テクノロジー コンサルティング本部  
シニア・プリンシパル  
Kozo F.

### 【グローバルなナレッジ共有】

テクノロジーアーキテクチャのスキルアップを目的に年に1回、アジア圏のアクセンチュアのメンバーが集まって、プロジェクトの事例やプロジェクト内で使ったテクノロジーを紹介するワークショップを行っています。若手社員が積極的に参加し、英語でのプレゼンを行ったり、他国のメンバーと交流を図っています。他国のマネジング・ディレクターからフィードバックがもらえるなど、若手にとって貴重な経験ができる場になっていると思います。



**24,000** コース以上

豊富なオンライントレーニング・プログラムで実践的スキルを磨くことができます。

## 海外トレーニング

海外の仲間と合同で行われる研修では、世界水準の最新ナレッジを習得できるのはもちろん、グローバル人材に欠かせないコミュニケーション・スキルを磨くことができます。

**990** 億円\*

人材開発・トレーニングへの  
年間投資額

\* 2020年度 \* 1US\$=110円で換算

## スピーディな成長を後押しする人材育成のプラットフォーム

アクセンチュアでは、自身の成長・キャリアパスに必要な社内外のカリキュラムを選択することができます。世界で活躍する人材であるために、自身の市場価値をさらに高めるために、世界中のコンサルティングの最先端で培われたナレッジを最大限吸収、活用できるプラットフォームが用意されています。



### オンライントレーニング

- ・24,000を超える業界や領域別の専門的/実践的コースを場所と時間にとらわれず受講できます
- ・マネジメントレベル、経験に応じておすすめのトレーニングが自動的にリコメンド表示されます

#### 【プログラム例】

Languageプログラム：24か国語の中から、ご自身のニーズにあった言語を一つ選び、24時間365日好きな時間にいつでも受講可能。マンツーマンのスピーキングレッスンも無制限で受講できます。



### 海外トレーニング

- ・海外でのプロジェクト事例や最新のビジネス動向などを学ぶとともに、クロスカルチャー研修の場でもあります
- ・研修センターはアメリカ（シカゴ）、インド、イギリスなどに展開

#### 【プログラム例】

Consulting University：他国のリーダーを講師に招き、全世界から集まった精鋭たちと、講義とケーススタディを通して、コンサルタントの基礎を学ぶプログラム。世界で自身の力を試すチャンスです。



### 国内トレーニング

- ・所属組織別・スキル別のトレーニングが豊富に用意されています
- ・実際のプロジェクトを素材とするケーススタディー
- ・ソリューション研修：ERP、SCM、CRMなど
- ・アライアンスパートナー研修：SAP、オラクル、マイクロソフト、セールスフォース・ドットコムなど
- ・提携社外スクールの受講も可能です：語学スクール、資格取得

#### 【プログラム例】

紙描きBoot Camp：現役コンサルタントが現場で必要とされる、ロジカルな紙（プレゼンテーション資料）の描き方を伝授するレッスン

# インクルージョン&ダイバーシティ



インクルージョン&  
ダイバーシティ日本統括  
常務執行役員  
堀江 章子

## 平等の文化がイノベーションをもたらす

お客様の多種多様な課題を解決するために必要なのは、多様なバックグラウンドを持つ人材がコラボレーションし、活躍する組織・チームだとアクセンチュアは考えています。

そして実際に、早くからその重要性に着目し、採用、様々な教育研修、例えばアンコンシャス・バイアス（無意識の偏見）研修などを通して意識改革の推進、そしてモデルとなるキャリアあるいは働き方を実現している社員とのネットワーキングなど、先進的なアプローチで取り組んでいます。

企業や団体が成功を取るためには、継続的なイノベーションが欠かせません。

イノベーションの創出には、多様な人材を集めること、そして全ての社員に対して

「平等の文化」があることが重要だと言われています。

アクセンチュアが発表した調査レポート（Getting to Equal 2020）によると、平等で多様性を受け入れる企業文化を実現するには、経営層自らが組織風土をよりオープンに変えていく

「カルチャー・メーカー」（平等で多様性を重んじる組織に変革していく経営層）になることがカギであり、カルチャー・メーカーが率いる組織は、平均的な組織の2倍以上の速度で成長を遂げていることが分かりました。

アクセンチュアのインクルージョン&ダイバーシティの基本となるのはEquality（平等）の理念です。

性別や性的指向、障がいの有無、国籍、文化的背景に関わらず、

すべての社員が活躍できる職場環境を目指し、以下の4つのセグメントで活動を推進しています。

## 障がいのある方

あらゆる社員が障がいの有無に関わらずそれぞれの価値を発揮し、活躍できる機会や環境を実現するため、ニーズに応じた支援とさまざまな活動を行っています。理解度向上やネットワークの促進を目的としたイベントや情報発信を実施しており、毎年12月には国連で定めた「国際障がい者デー」に合わせ、日本の各オフィスを中継でつないでイベントを開催しています。

## LGBTQ Pride

LGBTQをはじめ性的マイノリティの社員が安心して活躍できる職場環境を整えるため、理解促進のための独自のコンテンツ作成やトレーニングの実施、イベントの開催を行っています。また社内だけでなく、関連イベントの協賛などを通じて社会に対しての認知・理解促進も図っています。

## クロスカルチャー

異文化における働き方を理解し合い、その多様性を活用していくことは、グローバルネットワークで有機的に協働するアクセンチュアが培ってきた仕事の進め方です。さらに啓蒙イベントやトレーニングの実施、社員同士のネットワーキング促進にも積極的に取り組んでいます。

## ジェンダー

2006年から女性が最大限に能力を発揮できる職場環境を目指し、経営・人事・現場が一体となり支援制度の導入、研修、「国際女性デー」に合わせたイベントなど様々な活動を展開しています。現在はワーキングペアレンツ支援プログラムなどジェンダー平等を目指す取り組み全体を推進しています。

# 女性の活躍を支援する充実した制度

## ライフステージに合わせた働き方でしなやかにキャリアを築く

日本の  
女性社員の割合  
**36.5%**

日経WOMAN  
「女性が活躍する会社  
Best100」  
第**1**位  
2021

日経DUAL  
「共働き子育てしやすい  
企業ランキング」  
第**3**位  
2021

Great Place to Work®  
Institute Japan  
日本における「働きがいのある会社」  
第**14**位  
2021

### アクセントの産産・育児支援

ライフステージによって、「アクセントを踏み時期」「ちょっとブレーキを踏み時期」を自分の意志で実現できるよう、産産・育児を支援する制度を用意し、ワークスタイルの選択肢を提供しています。また、その他ベビーシッター費用補助など、さまざまなサポートも実施しています。

### 育児休業取得率

■ 全国平均  
■ アクセント平均

アクセント  
男性社員  
平均取得日数

**119日**

**12.7%**

**36.7%**

男性

**100%**

**81.6%**

女性

全国平均取得率 出所:厚生労働省「令和2年度雇用均等基本調査」

### 短日短時間勤務制度

一定の条件を満たした場合、週20時間及び週3日以上範囲内で勤務時間の選択が可能です(週3回で1日7時間勤務など)。育児・介護のほか、ボランティア活動への参加も対象理由として認められます。また、本制度を利用している社員でもフルタイムの正社員と同様に評価され、福利厚生も享受できます。

### 在宅勤務制度

社内運用ルールを満たすことを前提に、ご自身の業務内容に合わせて利用可能です。利用時間に制限はなく、午後外出の場合に午前中は在宅勤務するなど、活用方法は様々です。アクセントはデジタル技術を活用した働き方を推進しているため、会議にリモートで参加するのも日常です。育児・介護に関係なく、全社で多くの社員が利用しています。



## コーポレート・シチズンシップ 社会貢献活動

アクセンチュアは企業活動や事業を通じて、また社員の知識や技術など資産の提供により、お客様やステークホルダーへ社会的責任を果たすことを重要視しています。その取り組みの一環として、“Skills to Succeed”という共通テーマのもと、私たちが生活し働く社会において着実に社会的インパクトを創出する取り組みを推進しています。

2020年までに世界各地の300万人以上の人々に、就業や起業のためのスキル構築の機会を提供するという目標を2019年に前倒して達成しました。

### アクセンチュアがSkills to Succeedに取り組む理由



経済の持続的な発展にとって非常に重要でありながら、経済合理性だけでは解決されない課題だから



本業で培ったアクセンチュアの組織力を活かすことで、それらの課題をより効果的に解決できるから



アクセンチュアの社員が参加を通して多様な経験を積み、リーダーとしてさらに成長していく機会を提供できるから

### 日本で取り組んでいるテーマ

将来の日本の国際競争に関わる人材課題、人材の供給量の逼迫や前提環境の変化による人材の需要の質の変化を踏まえ、日本では8つのテーマに取り組んでいます

- |                    |                     |
|--------------------|---------------------|
| <b>1</b> グローバル人材育成 | <b>5</b> 経済的自立支援    |
| <b>2</b> STEM人材育成  | <b>6</b> 障がい者自立支援   |
| <b>3</b> 就業力・起業力強化 | <b>7</b> 就業者向けリスキル  |
| <b>4</b> 障がい者就労支援  | <b>8</b> チェンジメーカー創出 |

## アクセンチュアの環境への取り組み

気候変動が世界中の人々の生活と労働環境に及ぼす影響はますます大きくなっています。アクセンチュアは10年にわたり、常に高く大胆な環境目標を掲げ、サステナビリティに対するアプローチの刷新を続けています。



### 2025年までにネット・ゼロ・エミッションを達成

まず社内排出量の実質的な削減に取り組みます。残りの排出量に関しては、大気から排出量を除去する、自然に基づく炭素除去ソリューションに投資することで対応します。



### 廃棄物ゼロを目指して

2025年までに、電子廃棄物やオフィス家具を100%再利用率またはリサイクルするとともに、COVID-19のパンデミック収束の際には、オフィスにおける使い捨てプラスチック製品を排除します。



### 水害リスク計画の施行

2025年までに、水害リスク地域にある施設のビジネスや社員を対象に洪水、干ばつや水不足の影響緩和に向けた計画を策定します。



## 採用メッセージ

**変化やチャレンジを楽しみながら、  
自分ならではのキャリアを構築してほしい**

執行役員 人事本部長

**瀧澤 明良**

アクセンチュアがやっている仕事は、シンプルに言うと二つです。  
ひとつは新しいこと。  
そしてもう一つは難しいこと。

日進月歩のテクノロジーを活用して、新たな企業がかつてないサービスを立ち上げ、あっという間に市場を席捲する。そんな時代に私たちのお客様である企業や公的機関が競争に勝ち抜くには、他社に先んじて新しい取り組みを行うことが必要です。そして、前例のないことを先端テクノロジーを活かしてお客様と共にアジャイルに実現する、難しいことですがこれこそが私たちに求められています。

そのためには様々な強みを持った人々が結集し、チームで力を発揮することが欠かせません。アクセンチュアには世界中に69万人以上の本当に様々な領域の専門家があり、これらの専門家が協働するからこそ難しい課題に挑むことができるのです。

アクセンチュアは、社員一人ひとりがビジネスパーソンとして成長し、自分ならではのキャリア構築を実現することができる「プラットフォーム」です。一人ひとりが自分の「やりたいこと、実現したいこと」をきちんと言葉にして伝えることでそれを周りが支援する。そんな環境がアクセンチュアにはあります。

このプラットフォームで、変化やチャレンジを楽しみながら、社内外そしてグローバルに広がるネットワークを生かして成長したい、自らの成長でアクセンチュアに成長をもたらしたいと思う方が、私たちのオフィスの扉をノックしてくれることを心待ちにしています。



# 求める人材像

## 未来のアクセントチャーに必要なDNA

私たちが求めるのは、  
アクセントチャーによって自らを進化させ、アクセントチャーに進化をもたらす人材

- 背伸びをしてでも目標へ手を伸ばさずにはいられない
- チャレンジに、手加減をしない
- 自分も会社も世の中までも、変えたいと望む
- 常に次のステージを見据え、自らの開拓に貪欲である
- タフな状況も、先頭に立ち楽しめる情熱がある
- あるべき姿を追求するためには、立場や関係性を越えた主張を厭わない
- 信念に基づき、主張し、実際にやりとげる
- チームワークの可能性を信じる
- 多様な文化、相違する意見の中にこそ宝石があると知っている
- 常に誠実さを失わず、言行一致の気概がある

先駆者であり続けるために、進化は宿命  
予測不可能な未来のアクセントチャーを造れる DNA が必要だ



「未来のアクセントチャーに必要なDNA」は、アクセントチャーで活躍している人材に共通する素養をまとめたものです。このようなDNAを持つ方と一緒に未来のアクセントチャーを造っていききたい。それが私たちの採用メッセージです。

## 採用カテゴリ・採用プロセス

より大きなチャンス、チャレンジ、ゴールを求める  
皆様のご応募をお待ちしています

職種により募集期間は異なります。  
詳しくは各採用Webサイトでご確認いただけます。

### 新卒採用



 **新卒採用**  
詳しくはこちら

### 採用担当からのメッセージ

初めて社会に出る皆さんにとって、その先の長いキャリアを形成する「成長と自己実現のプラットフォーム」となるのがアクセントです。ひと通りプロフェッショナル・スキルを獲得した後は、幅広いキャリアチャンスや働き方の選択肢が待っています。

ライフイベントや価値観の変化にも柔軟に対応できる、グローバル企業ならではの制度やチャンスを大いに活用し、次世代をリードする人材に育ててほしいと願っています。

## 経験者採用

### 募集要項

職務内容、募集要項はポジション毎に異なります。  
最適な応募ポジションについてなどお気軽にご相談ください。

正式応募：[JPN.Email.Application@accenture.com](mailto:JPN.Email.Application@accenture.com)

それ以外のお問い合わせ：[Tokyo.Recruiting@accenture.com](mailto:Tokyo.Recruiting@accenture.com)

### 採用プロセス



### 採用担当からのメッセージ

これまで培ってきた得意分野を活かしつつ、アクセンチュアの幅広いフィールドで自分を成長させる—そんな成長意欲のある方、そしてプロアクティブに自らのスキルやキャリアを磨き上げられる方を求めています。  
アクセンチュアの人材理念の一つ、「チームワークの可能性を信じる」に驚かれる方も多ですが、様々なバックグラウンドやスキル、個性を持つ人たちが共に切磋琢磨しながら共に成果を生み出す風土こそが私たちの強みです。そんな世界的な組織の一員として活躍してみたいという方をお待ちしています。



 **経験者採用**  
詳しくはこちら

### 社員紹介制度をご活用ください

お知り合いにアクセンチュア社員がいる方は、紹介制度をご利用いただけます。ご紹介者限定の採用イベント、マッチング相談会などを開催していますので、お気軽にアクセンチュア社員に「Employee Referral Program」を利用希望」とお声掛けください。

\*すでに選考段階に進んでいる方は社員紹介をご利用いただけませんのでご注意ください

\*経験者採用のみで実施しています



### 採用プロセス



## オープンな企業文化

クラブ活動や社内イベントで一生の仲間を。  
家族ぐるみのネットワーキングも。

公式なクラブ活動の他、スポーツイベントや  
ネットワーキングイベントが活発に行われるのも、  
エネルギッシュで情熱的な社員が集まる  
アクセンチュアの特徴かもしれません。  
オンラインコミュニケーションツールを活用して、  
所属部署やオフィス、年次の垣根を越えて、交流を深めています。

### Think straight, talk straight.

“とことん考え抜き、ストレートに伝える”。  
立場に関わらず自分の考えを率直に発言  
することが歓迎される、アクセンチュアの  
カルチャーを表す際によく使われる言葉で  
す。



## 公式クラブ活動は44種

テニス部 	バスケットボール部 	野球部 	バイク部 	ゴルフ部 	サッカー部 	バレーボール部 	スカッシュ部 	サバイバルゲーム部 
スキー部 	波乗り部 	探検部 	ACN 国際開発部 	写真部 	室内楽部 	AIF スキー&スノーボード部 	福岡スポーツクラブ 	ロードバイク部 
手話クラブ 	MM フットサル部 	自動車部 	ヨガ 	茶道部 	将棋部 	ダンス部 	釣り部 	ハッカソン部 
芸術部 	ワイン・クルージング 	バドミントン部 	ダイビング部 	トレイルランニング部 	ASO 部 	トライアスロン部 	HDC テニス部 	関西ゴルフ部 
カラオケ部 	eスポーツ部 	卓球部 	ボルダリング部 	サウナ部 	関西フットサル部 	AIF テニス部 	AI Interest Group 	



MMフットサル部は平日夜に活動。  
会社帰りに流す汗は格別!



波乗り部の合宿の様子、奄美大島にて

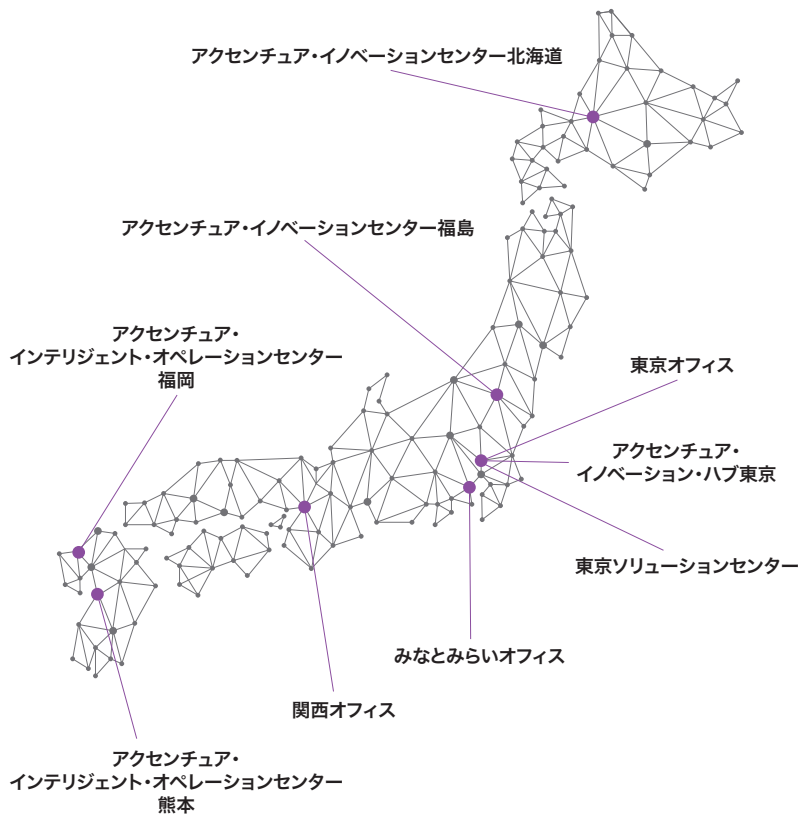


手話クラブではランチタイムに各オフィスでビデオ会議  
でつなぎ、共に手話を学んでいます。

## アルムナイネットワーク

アクセンチュアでは次のキャリアに向けて退職することを“卒業”と呼び、卒業した元社員を“アルムナイ(卒業生)”と呼んで、アクセンチュアファミリーとしてのつながりを大切にしています。それは、アルムナイが新たな知識やビジネスチャンス、友情をもたらす貴重な資産であるからです。全世界では30万人以上のアクセンチュア卒業生がネットワークに在籍し、共通の志向性や経験をベースにさまざまなコラボレーションを生んでいます。

## 主な国内事業拠点



東京オフィス(赤坂インターシティAIR)







関西オフィス





## 日本

## グローバル・グループ

名称	アクセンチュア株式会社 (Accenture Japan Ltd)	Accenture
所在地	東京都港区赤坂<本社機能>	世界50カ国200都市以上
創業	1962年	1953年
設立	1995年	1989年
代表者	代表取締役社長 江川 昌史	最高経営責任者 ジュリー・スウィート

## アクセンチュアについて

アクセンチュアは、デジタル、クラウドおよびセキュリティ領域において卓越した能力で世界をリードするプロフェッショナル サービス企業です。40を超える業界の比類のない知見、経験と専門スキルを組み合わせ、ストラテジー&コンサルティング、インタラクティブ、テクノロジー、オペレーションズサービスを、世界最大の先端テクノロジーセンターとインテリジェントオペレーションセンターのネットワークを活用して提供しています。アクセンチュアは69万9,000人の社員が、世界120カ国以上のお客様に対してサービスを提供しています。アクセンチュアは、変化がもたらす力を受け入れ、お客様、社員、株主、パートナー企業や社会へのさらなる価値を創出します。

アクセンチュアの詳細は  
[www.accenture.com/us-en](https://www.accenture.com/us-en) を、  
アクセンチュア株式会社の詳細は  
[www.accenture.com/jp](https://www.accenture.com/jp) をご覧ください。

## Stay connected



<https://www.facebook.com/Accenture.Japan>



<https://www.linkedin.com/company/accenture-japan/>



<https://twitter.com/AccentureJapan>



<https://www.youtube.com/user/AccentureJP>